

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年5月18日(2006.5.18)

【公表番号】特表2002-509712(P2002-509712A)

【公表日】平成14年4月2日(2002.4.2)

【出願番号】特願2000-541199(P2000-541199)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/705 (2006.01)

C 0 7 K 16/18 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/00

C 0 7 K 14/705

C 0 7 K 16/18

A 6 1 K 37/02

C 1 2 N 5/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月17日(2006.3.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) 配列番号1の配列を有する核酸分子；

(b) 配列番号2の配列を含むアミノ酸配列をコードする核酸分子；

(c) 60、0.5XSSC、0.1% SDSの洗浄条件を伴う、50%ホルムアミドおよび6XSSC、42の、中程度にストリンジェントな条件下で、(a)または(b)の核酸配列を含む、変性二本鎖DNAのいずれかの鎖にハイブリダイズする核酸分子であって、ここで前記核酸配列は、配列番号2と少なくとも80%の同一性を有するアミノ酸配列をコードする、前記核酸分子；および

(d) 少なくとも25の連続するヌクレオチドを含む、(a)-(c)の断片からなる群より選択されるポリヌクレオチドを含む、単離核酸分子。

【請求項2】

(a) 配列番号2のアミノ酸22-221；

(b) 配列番号2のアミノ酸1-221；

(c) 配列番号2のアミノ酸222-245；

(d) 配列番号2のアミノ酸246-365；

(e) 配列番号2のアミノ酸19-221；

(f) 配列番号2のアミノ酸x-y、ここでxは19から22(両端を含む)からなる群より選択される整数であり、そしてyは221から224(両端を含む)からなる群より

選択される整数であり；

(g) 配列番号7のアミノ酸配列；および

(h) 配列番号8のアミノ酸配列

からなる群より選択される、アミノ酸配列を有するポリペプチドをコードするポリヌクレオチドを含む、単離核酸分子。

【請求項3】

請求項1または請求項2の核酸分子の発現を指示する組換えベクター。

【請求項4】

(a) 請求項1の核酸分子によりコードされるアミノ酸配列；

(b) 配列番号2のアミノ酸22-221；

(c) 配列番号2のアミノ酸1-221；

(d) 配列番号2のアミノ酸222-245；

(e) 配列番号2のアミノ酸246-365；

(f) 配列番号2のアミノ酸19-221；

(g) 配列番号2のアミノ酸x-y、ここでxは19から22(両端を含む)からなる群より選択される整数であり、そしてyは221から224(両端を含む)からなる群より選択される整数であり；

(h) 配列番号7のアミノ酸配列；および

(i) 配列番号8のアミノ酸配列

からなる群より選択されるアミノ酸配列を含む、単離ポリペプチド。

【請求項5】

配列番号2のアミノ酸1-365からなるポリペプチドに結合する単離抗体であって、ここにおいて前記抗体はC1.7mAbが結合するものと異なるエピトープに結合する、前記抗体。

【請求項6】

モノクローナル抗体である、請求項5の単離抗体。

【請求項7】

請求項3のベクターでトランスフェクションまたは形質導入されている宿主細胞。

【請求項8】

請求項7の宿主細胞を、発現を促進する条件下で培養することを含む、NAI Lポリペプチドを産生するための方法。

【請求項9】

ポリペプチドの回収をさらに含む、請求項8の方法。

【請求項10】

宿主細胞が哺乳動物細胞である、請求項8の方法。

【請求項11】

組換えまたは合成ヒトNAI Lポリペプチドおよび生理学的に許容できる希釈剤を含む、免疫原性組成物。

【請求項12】

配列番号1の核酸分子の単離DNA断片であって、ここで前記断片がCD48に結合するポリペプチドをコードし、CD48を介して細胞活性化を刺激し、またはNAI Lを介して細胞活性化を阻害する、前記単離DNA断片。

【請求項13】

請求項12のDNA断片によりコードされる、ポリペプチド。

【請求項14】

請求項4または請求項13のポリペプチドの少なくとも2つのモノマーを含む、オリゴマー。

【請求項15】

請求項4または請求項13のポリペプチドを含む、異種融合タンパク質。

【請求項16】

ヒト N A I L ポリペプチドを含む、C D 4 8 を検出するための、医薬組成物。

【請求項 1 7】

可溶性ヒト N A I L ポリペプチドを含む、C D 4 8 をキレート化するための、医薬組成物。

【請求項 1 8】

可溶性ヒト N A I L ポリペプチドを含む、細胞表面上の N A I L ポリペプチドと C D 4 8 の結合を阻害するための、医薬組成物。

【請求項 1 9】

N A I L ポリペプチドと C D 4 8 の結合の阻害剤をスクリーニングする方法であって：
(A) N A I L ポリペプチドを C D 4 8 に、前記 N A I L ポリペプチドが前記 C D 4 8 ポリペプチドと結合する条件下で曝し；
(B) 試験試料の存在下で工程 (A) におけるような条件下で、前記 N A I L ポリペプチドを前記 C D 4 8 ポリペプチドに曝し；そして、
(C) 前記試験化合物の存在下および非存在下で形成される複合体のレベルを比較し、ここで前記試験試料の存在下での複合体のレベルがより低いことは、前記試験試料中の阻害剤の存在を示すことを含む、前記方法。

【請求項 2 0】

前記方法が酵母 2 - ハイブリッドアッセイである、請求項 1 9 の方法。

【請求項 2 1】

可溶性ヒト N A I L ポリペプチドを含む B 細胞を刺激する医薬組成物であって、ここで前記 B 細胞は I L - 4、I L - 1 0、または C D 4 0 L で状況に応じて活性化される、前記医薬組成物。

【請求項 2 2】

免疫原またはワクチンを前記細胞とインキュベートする、請求項 2 1 の医薬組成物。

【請求項 2 3】

N K 細胞または細胞障害性 T 細胞を刺激するための医薬組成物であって、可溶性ヒト C D 4 8 ポリペプチドを含む、前記医薬組成物。

【請求項 2 4】

癌細胞の増殖を阻害する医薬組成物であって、可溶性ヒト N A I L ポリペプチドを含む、前記医薬組成物。

【請求項 2 5】

患者において可溶性 C D 4 8 をキレート化する、患者において細胞表面上の N A I L と C D 4 8 の結合を阻害する、患者において B 細胞を刺激する、患者において B 細胞による I g M の分泌を増加させる、患者において樹状細胞を刺激する、患者において樹状細胞による T N F または I L - 1 2 の産生を増加させる、患者において B 細胞の刺激を阻害する、または患者において樹状細胞の刺激を阻害するための、医薬の製造における可溶性ヒト N A I L ポリペプチドの使用。

【請求項 2 6】

患者において細胞表面上の C D 4 8 と N A I L の結合を阻害する、患者において N K 細胞を刺激する、患者において N K 細胞による I F N の産生を増加させる、患者において細胞障害性 T 細胞を刺激する、患者において N K 細胞の刺激を阻害する、患者において細胞障害性 T 細胞の刺激を阻害する、または患者において樹状細胞を刺激するための、医薬の製造における可溶性ヒト C D 4 8 ポリペプチドの使用。